

令和元年度事業報告書

平成31年4月1日～令和2年3月31日

平成30年度の成果を踏まえ、各施設の特徴を活かし、幅広い年齢層を対象にした舞台芸術公演や、市民参加型事業を実施すると同時に、管理運営について経費節減や施設利用の活性化と市民サービスの向上に努めた。また、姫路市の国際化と地域ぐるみの国際交流事業を推進し、市民の国際交流についての理解と関心を高め、諸外国との相互理解と友好親善を深め、さらに世界に開かれた魅力ある国際都市づくりを目指した。

令和元年度は、財団の事業企画運営力向上を目指し、事業についても、姫路市が推進する「音楽のまち・ひめじ」事業のさらなる活性化を目指し、多彩な新規事業を展開した。

目玉公演として、「池辺晋一郎Presentsシンフォニック・プリンセス」や吹奏楽のレベルアップを目指した「オーケストラの世界へようこそ！」など新しい事業に挑戦し、事業に沿った内容のプレイベントやワークショップなどを積極的に行うことで、舞台と街中どちらでも文化に触れ合える機会の拡充を試みた。

しかし、12月に中国武漢で発生した新型コロナウイルスの世界中への感染拡大により、翌2月後半から日本中が影響を受け始めた。

2020東京オリンピック・パラリンピックの延期が決定され、当財団の事業についても感染拡大防止の要請に応じ3月実施予定の5公演を中止し、チケットの払い戻し及び公演料等の精算等かつてない事態に対応することとなった。毎年3月に実施していた文化交流フェスティバルも中止し、姫路市芸術文化賞授賞式のみ行うこととなった。

また施設管理運営事業についても、貸館が相次ぐ中止となり、使用申請の中止処理及び来館予定者からの問い合わせへの対応に追われた。

なお、予算書内訳表の事業区分は次のとおりとする。

- 公益目的事業1（略＝〔公1〕）音楽・演劇等の公演事業
- 公益目的事業2（略＝〔公2〕）文化振興のための育成普及事業
- 公益目的事業3（略＝〔公3〕）博物館の企画展示事業
- 公益目的事業4（略＝〔公4〕）文化施設の貸与及び管理運営事業
- 公益目的事業5（略＝〔公5〕）国際交流事業
- 収益事業1（略＝〔収1〕）管理運営施設等の物品販売事業
- 収益事業2（略＝〔収2〕）文化施設の公益的目的外の貸与及び管理運営事業
- その他事業1（略＝〔他1〕）その他の文化・国際交流事業

I 文化振興事業

「育成」「普及」「鑑賞」「交流」の4機能を事業の柱として設定し、すぐれた舞台芸術の提供、地域文化の育成と支援、郷土文化の伝承と保存、芸術文化活動の振興と奨励、文化情報の収集と提供、文化団体や文化人の交流等の文化振興事業を以下のとおり実施した。

1 音楽のまち・ひめじ

東京オリンピック・パラリンピックに向け、2020東京オリンピック・パラリンピック姫路プロジェクトの一環として、姫路の街ににぎわいを創出すべく、「音楽のまち・ひめじ」プロジェクトを推進した。

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
1	第22回 姫路ジャズフェスティバル 地元ジャズ・バンド大集合 〔公1〕	元.5.5(日・祝) 【1回】	文化センター 大ホール	アマチュアバンドが実行委員会形式により企画・立案、広報、チケット販売を行った。 出演＝メガトーンジャズオーケストラ、サンデー・サウンズ・ジャズ・オーケストラ、スイングキャッツ、キャッスルジャズバンド 他 計13団体 【入場者】1, 352人
2	吹奏楽講習会 〔公2〕	元.6.16(日) 【1回】	文化センター 大ホール	指揮者・作曲家の天野正道による吹奏楽の講習会。多くの学生・市民に参加を呼びかけ、吹奏楽の普及・向上を図った。 西播吹奏楽連盟との共催事業。 【入場者】725人
3	池辺晋一郎Presents シンフォニック・プリンセス 〔公1〕	元.7.21(日) 【1回】	文化センター 大ホール	池辺芸術監督オリジナル企画。 音楽の楽しさを広げるため、クラシック、ミュージカル、映画音楽を、各界一流の女性アーティストとオーケストラの演奏により実施した。 お話＝池辺晋一郎 指揮＝茂木大輔 演奏＝日本センチュリー交響楽団 出演＝小林沙羅、May J、白羽ゆり 構成＝新井鷗子 【入場者】1, 058人
4	こどもオペラ 音楽劇「ブレーメンの音楽隊」 〔公1〕	元.8.23(金) 【2回】	文化センター 小ホール	0歳から入場できる、親子で一緒に観る・聴く・動いて楽しめるクラシック名曲コンサートを実施した。 【入場者】2回858人
5	細川千尋トリオ with コロンネリか ジャズライブ	元.10.26(土) 【1回】	文化センター 小ホール	ジャズ人口の拡大のため、新進気鋭のジャズピアニストと声楽家による異色のジャズコンサートを実施した。 【入場者】121人
6	第22回 姫路ミュージック・ストリート 〔公1〕	元.10.27(日) 【1回】	アートホール 文学館 心城館(淳心 学院講堂) 美術館	姫路城周辺にある施設を会場とした、プロ、アマチュアトップの音楽家によるコンサートを実施し、音楽あふれるまちづくりに貢献した。 【入場者】延べ930人
7	音楽の絵本 ズーラシアンブラス&弦うさぎ 〔公1〕	元.11.16(土) 【1回】	文化センター 大ホール	子どものコンサートデビューにぴったりの0歳から入場できる演奏会。 出演者が動物に扮して小芝居を挟んだり、クイズをしながら演奏することで子どもの心をつかみ、飽きずにより楽しく音楽を体験できるコンサートを実施した。 【入場者】913人

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
8	オーケストラの世界へようこそ！ 〔公1〕	2.3.22(日) 【1回】 【開催中止】	文化センター 大ホール	事前にプロ奏者が中学生を対象に楽器講習会を実施した。 本番ではプロオーケストラと共演し、吹奏楽の育成とともにプロとの貴重な経験を図る予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止要請を受け開催中止。 【入場者】2/11 講習会 120名
9	懐かしの洋楽ヒットパレード 〔公1〕	元.5.30(木) 元.9.26(木) 2.2.16(日) 【年間3回】	キャスパホール	各回テーマに沿って募集したリクエスト曲でセットリストを構成し、三浦紘朗(元ラジオ関西アナウンサー)の軽妙なトークを交えながら、オリジナル音源を楽しむCDコンサートを実施した。 【入場者数】延べ802人
10	パルナソス 朝のハーモニー 〔公1〕	年間 【8回】 31.4.13(土) 元.6.8(土) 元.7.13(土) 元.8.10(土) 元.9.14(土) 元.11.9(土) 元.12.14(土) 2.1.11(土)	パルナソスホール	原則第2土曜日の朝、家族揃って気軽に楽しめるコンサート。 出演者は、「姫路パルナソス音楽コンクール入賞者」や新進演奏家、地元音楽家などの申し込みにより決定。出演者独自の企画による舞台づくりにより、演奏家の育成を図った。 出演者＝ 4/13:本田ひまわり(オルガン) 6/8:原田真侑(オルガン) 7/13:石川未央(ヴァイオリン)、河地恵理子(ピアノ) 8/10:丸山聡美、内藤裕子(ピアノ)、 9/14:山根風仁(バロック・チェロ)、辛川太一(チェンバロ)、 11/9:森下真衣(ピアノ) 12/14:坂本樹生(バリトン)、高橋奏音(ソプラノ)、安野美咲(ピアノ) 1/11:木村理佐(オルガン) 【入場者】延べ1,683人
11	パルナソス アフタヌーンコンサート 5/11:池内響バリトンソロ 8/17:大久保祐奈フルート～ファンタジーの世界へ～ 11/2:SAKURA～和洋が織りなす音楽の舞～ 〔公1〕	元.5.11(土) 元.8.17(土) 元.11.2(土) 【3回】	パルナソスホール	パルナソス朝のハーモニー事業のステップアップ事業として、若手プロ演奏家への舞台提供とともに、より身近に音楽に触れる機会を設けた。 出演＝ 5/11:池内響(バリトン)、榎本優人(ピアノ) 8/17:大久保祐奈(フルート)、笹まり恵(ピアノ) 11/2:木原朋子(箏)、齊藤愛(ヴァイオリン)、杉江慶子(ピアノ) 【入場者】延べ655人

[パルナソス育成普及事業]

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
1	第22回 姫路パルナソス 音楽コンクール 第22回 姫路パルナソス 音楽コンクール入賞者演 奏会 〔公1〕	元.5.12(日) 【1回】 元.7.15(月・祝) 【1回】	パルナソスホ ール パルナソスホ ール	エネルギーで将来性豊かな才能あるアー ティストの発掘と、姫路地域における音楽活 動の支援を目的とするコンクール。 審査委員長は当財団芸術監督の池辺晋一 郎が務め、関西を中心に全国から集まった参 加者20名が競い合った。 入賞者＝森麻衣子、横山愛沙美、沖吉愛 里、沖本みなみ、山田栞、赤間俊 之、森由貴、中村理子。 コンクール入賞者による演奏会も実施。 【入場者】291人
2	室内楽演奏会 N響メンバーによる トロンボーン四重奏 〔公1〕	元.5.19(日) 【1回】	パルナソスホ ール	日本を代表するNHK交響楽団のトロンボ ーン奏者によるコンサート。 出演＝新田幹男、古賀光、池上亘、黒金寛 行(トロンボーン) 【入場者】251人 併せて、初級・上級クラスとわけて楽器講習 会を開催し、奏者の育成・向上を図った。 【受講者】延べ26人 【聴講者】10人
3	上田晴子ピアノスクール 「マスタークラス」 〔公2〕	元.7.26(金) ～7.29(月) 【4回】	パルナソスホ ール	講師は、上田晴子(パリ国立高等音楽院ピア ノ科准教授・室内楽科教授)。ピアノのソロと アンサンブルの公開レッスン。 技術面だけでなく、演奏家としての心構え、 音楽性にまで踏み込んだ密度の濃いクリニッ ク。 【実技受講者】延べ44人 【聴講者】延べ103人
4	プロジェクションマッピング 音と光のクリスマス・ファン タジー 〔公1〕	元.12.15(日) 【1回】	パルナソスホ ール	NHK交響楽団第一コンサートマスターの篠 崎史紀と、パルナソスホールオルガニストの長 田真実、姫路市児童合唱団、関西学院大学 アカデミックコモンズプロジェクト「SHADECOR」、 ウシオグループの産官学連携によるプロジェ クションマッピングコンサート。 【入場者】640人

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
5	バロック in 姫路 声の魔力～バロック、それは歌からはじまった～ 〔公1〕	2.1.5(日) 【1回】	パルナソスホール	ホールの特性、音響の良さを生かした演奏会。チェンバロやポジティブオルガンなど、パルナソスホールの所蔵楽器を使用したオリジナル企画。 バロックオペラの名場面を初心者でも分かりやすいよう演出・解説を交え実施。 関西の若手歌手をゲストに招き、若手の舞台提供の創出も図った。 出演＝鈴木美登里(ソプラノ)、波多野睦(メゾソプラノ)、佐藤亜紀子(リュート)、大塚直哉(チェンバロ)、前田あすか(ソプラノ)、伊原木幸馬(テノール) 【入場者】223人
6	合唱シリーズVol. 3 千原英喜の世界 〔公1〕	2.3.22(日) 【1回】 【開催中止】	パルナソスホール	公募した合唱団によるパルナソスホール独自企画のコンサート。指揮者に作曲家の千原英喜氏を迎え、市民とプロ奏者の共演を設けて実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止への協力要請を受け中止した。

[パルナソス楽器普及事業]

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
1	オルガン振興事業 オルガンシリーズ Vol.2 「音の大海原へ」カイ・ヨハンセンオルガン オルガンシリーズ Vol.3 音楽絵巻「竹取物語」 オルガンシリーズ Vol.4 「合唱と織りなす珠玉のハーモニー」 夏休みオルガンレクチャー&ミニコンサート 〔公2〕	通 年 元.5.8(水) 元.9.29(日) 元.11.30(土) 【各1回】 元.8.24(土)	パルナソスホール	ホールのシンボルであるパイプオルガンの振興を図る。「オルガン講座(通年コース、1日体験)」「オルガン紹介イベント」「オルガンコンサート」等を実施。 講師:長田真実(ホールオルガニスト) 通年コース【受講生】7人 ※令和2年3月中の講座、受講者発表会(3/20)は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期。 1日体験(6/8、10/26、1/19 各 A・B・C クラス) 【受講者】延べ56人 【観覧者】延べ31人 オルガンシリーズ出演者= Vol.2 カイ・ヨハンセン Vol.3 松岡貴史(作曲・朗読)、中川日出鷹(ファゴット)、松村衣里(ハープ)、水本紗恵子(映像)、松岡みち子(作曲)、松岡あさひ(明珍火箸)、長田真実(オルガン) Vol.4 仁階堂孝(指揮)、Ensemble Evergreen(合唱)、長田真実(オルガン) 【入場者】延べ655人 オルガンレクチャー&ミニコンサート 出演=長田真実、パルナソスホールスタッフ 【入場者】321人
2	チェンバロ講座 〔公2〕	通 年	パルナソスホール	チェンバロの活用と普及のため、講師の大塚直哉(チェンバリスト、東京藝術大学教授)による「チェンバロ講座」、チェンバロ演奏に密接な関係のある「バロックダンス講習会」(講師=湯浅宣子)を実施。 【受講者】 1日体験(4/20、8/10、2/15)=延べ20人(観覧者=延べ8人) 入門コース(通年)=12人 初級コース(通年)=9人(※3/14は延期) 課題曲ワークショップ(通年)=延べ63人(聴講生=延べ12人) 上級コース(通年)=1人(※3/14は延期) ダンス講習会(6/16、8/24、12/14 クラス 1・2・3)=延べ132人 ※受講者演奏会(3/15)は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努め延期。

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
3	はじめての フルート教室 〔公2〕	通 年	パルナソスホ ール	楽器を通じて音楽に触れ合う機会の提供を目的として、初めてフルートを演奏する方を対象にした教室を、村松フルート製作所協力のもと実施した。 【受講者】延べ17名 ※3/15、25 の教室、受講者発表会(3/28)は、新型コロナウイルス感染症拡大防止への協力要請を受け延期。
4	アウトリーチ事業 〔公2〕	通 年	市内小学校	小学生への音楽教育の一環として、楽器の音を生で聴くことにより、子供の情操教育の充実をめざし、感性を豊かに育むために実施し、地域文化の向上も図る。 「オーケストラメンバーによるワークショップ」講師は大阪フィルハーモニー交響楽団のメンバー。 ・ワークショップ 白鳥小(9/18、9/19、9/20)学年毎、計6回 東小(9/17、10/10、10/15)学年毎、計6回 安室東小(10/8、11/21、11/22)学年毎、計6回 ・ミニコンサート(全学年)各校1回 白鳥小(11/22)、東小(10/7)、安室東小(10/21) ・ホールコンサートへの招待 交響詩ひめじ演奏会(3/7) 対象6年生 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止により公演中止。 【参加者】延べ1, 348人 「ポジティブオルガンのワークショップ」 パルナソスホールのオルガンをより身近に感じていただけるように移動可能な楽器(ポジティブオルガン)を活用。講師は長田真実。 実施校＝増位小(9/19)、城乾小(9/27)、網干小(10/9)、上菅小(10/30)低学年高学年ごと計7回【参加者】延べ1, 254人

〔交響詩ひめじ普及事業〕 〔公2〕

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
1	第30回「交響詩ひめじ」合唱コンクール	2.2.2(日) 【1回】	パルナソス ホール	市制100周年を記念して制作した「交響詩ひめじ」を歌い継いでいくための合唱コンクール。(審査員=池辺晋一郎(財団芸術監督、「交響詩ひめじ」作曲者)、洲脇光一(兵庫県合唱連盟最高顧問)、林裕美子(声楽家)) コンクールに先立ち、12月8日(日)には、「池辺晋一郎による合唱ワークショップ」も開催。 参加=12団体(小・中学生の部4団体うち1団体欠場、高校・一般の部8団体) 最優秀賞=姫路市立灘中学校コーラス部、 合唱団「響」 優秀賞=福崎町立福崎西中学校合唱部、 姫路市立広嶺中学校コーラス部 (特例で2団体受賞)、Chor 飾西 池辺晋一郎特別賞=Harries 【入場者】 ワークショップ参加者=57人、観覧者=30人 合唱コンクール441人
2	「交響詩ひめじ」演奏会	2.3.8(日) 【1回】 【開催中止】	パルナソス ホール	「交響詩ひめじ」の普及を目的とし、2月の合唱コンクール受賞団体と、交響楽団によるジョイントコンサート。 指揮:池辺晋一郎 演奏:大阪フィルハーモニー交響楽団 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止により公演中止。

〔音楽のまち・ひめじプロジェクト〕

〔公2〕

市内各地において多彩な音楽事業を展開し、まちのにぎわいを創出するとともに、本市における次世代の音楽家を育成。また、音楽事業について、広く周知を図るため、季刊プログラムの発行やホームページで発信を行い音楽の力で姫路を元気にする。

令和元年度は、駅北にぎわい交流ひろばやショッピングモールでのプロ・アマによるコンサートなどを実施した。

〔ル・ポン国際音楽祭(姫路国際音楽祭)実行委員会事務局業務〕

〔公1〕

市民の間にクラシック音楽を楽しむ土壌を醸成すること、芸術に触れることによる市民文化の振興、青少年の豊かな心の醸成を実現するとともに、姫路の魅力を世界に向けて発信することを目的として開催した。平成24年から、赤穂国際音楽祭と共同で開催している。

2 市民文化高揚事業

演劇、古典芸能等の分野において、芸術性の高い鑑賞型の舞台公演を開催するほか、各種の振興事業を実施した。

〔演劇、古典芸能、大衆芸能〕

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
1	イン・ザ・プール 〔公1〕	元.7.7(日) 【1回】	キャスパホール	姫路市出身の笹部博司の演出により、奥田英朗原作の『イン・ザ・プール』を、渡辺徹・内博貴の出演で上演した。 【入場者】303人
2	第47回 姫路落語会 〔公1〕	元.8.3(土) 【2回】	文化センター 小ホール	桂米朝一門の豪華メンバーによる落語会。 好評につき、今回も昨年に引き続き2回公演としたほか、よりお客様が来場しやすいように開演時間を各回1時間早めて開催した。 出演・演目(出演順) 桂團治郎 「桃太郎」 桂ひろば 「狸の化寺」 桂南天 「青菜」 桂ざこば 「笠碁」 桂米團治 「遊山船」 月亭八方 「竹の水仙」 【入場者】2回642人
3	令和元年度 舞台技術講習会 〔公2〕	元.8.3(土) 8.4(日) 【1回/2日間】	キャスパホール	演劇初心者を対象に、俳優・振付師・演出家の小安展子が“ミュージカルのシーンを創ろう”というテーマで講習を行った。 【受講者】49人 【聴講者】4人
4	第26回キャスパ能 〔公1〕	元.8.18(日) 【1回】	キャスパホール	姫路能楽会との共催で実施。シテ方観世流職分である能楽師、山階彌右衛門を迎えて「葵上」を上演した。 同日午前には初心者向け講座「さいしょの一步」を実施。仕舞体験を行った。 【入場者】235人
5	こどものための 演劇体験ワークショップ -伝える 繋げる 響き合う Vol.3- 〔公2〕	元.8.26(月) 【1回】	キャスパホール	演劇を通じた“人と時間を共有する体験の提供”が目的のワークショップ。 小学1年生～3年生を対象に、『高校生による演劇公演』の卒業生が講師となって、台本を使用した演劇の講習を実施した。 【受講者】28人

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
6	劇団四季ミュージカル 「エビータ」 〔公1〕	元.9.12(木) 【1回】	文化センター 大ホール	「キッツ」「オペラ座の怪人」などを手がけた作曲家ロイド＝ウェーバーによる「エビータ」を上演。アルゼンチンの片田舎に私生児として生まれた一人の少女エバが大統領夫人となり、33歳でその生涯を終えるまでの一生を描き、今作は、浅利氏の追悼公演でもあった。 【入場者】1,472人
7	松竹大歌舞伎 〔公1〕	元.9.16(月・祝) 【1回】	文化センター 大ホール	全国公立文化施設協会統一企画「松竹大歌舞伎」西コースを開催した。 出演：中村鴈治郎、中村扇雀、尾上松也 他 演目：封印切、蜘蛛絲梓弦 【入場者】923人
8	第28回 こころの祭 姫路 〔公2〕	元.11.11(月) 【1回】	市内各所	姫路の隠れた文化をさらに掘り下げるため、自宅、神社、仏閣などを無料で開放していただく全国でもユニークな催しを実施した。 実施協力者は6～7月に公募し決定した。 実施協力者＝27件 【入場者】2,087人
9	第28回 キャspa寄席 〔公1〕	元.11.23(土) 【1回】	キャspaホール	桂米朝一門の中堅、若手による落語会。 演目は、会場の雰囲気により決定した。 出演・演目(出演順) 桂慶治朗 「みかんや」 桂佐ん吉 「時うどん」 桂南天 「替わり目」 桂あさ吉 「鯛」 桂米二 「ふぐ鍋」 【入場者】310人
10	名画鑑賞会 〔公1〕	元.12.19(木) ～12.20(金) 【2回】	文化センター 大ホール	優秀映画鑑賞推進事業として、東京国立近代美術館フィルムセンター所蔵の邦画を上映した。 2日間で4作品を35ミリフィルムで上映した。 19日 「東京オリンピック」「野火」 20日 「おはん」「ぼんち」 【入場者】2回514人
11	第21回 今日も元気 だ！茂山狂言 〔公1〕	2.1.19(日) 【1回】	キャspaホール	狂言大蔵流の茂山千五郎家による狂言会を実施した。 出演：茂山あきら、茂山千五郎、茂山茂、茂山千之丞、網谷正美、丸石やすし 他 演目：解説&ミニワークショップ 「禰宜山伏」「仏師」 「かけとり」(作・茂山逸平) 【入場者】207人

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
12	2020文化交流 フェスティバル 令和元年度第42回姫路 市芸術文化賞授賞式 〔公2〕	2.3.19(木) 【開催中止】	姫路キャッス ルグランヴィリ オホテル	文化人等の交流の場として開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止に努め授賞式のみ行った。 【入場者】30名
13	ユネスコ無形文化遺産 人形浄瑠璃 文楽 〔公1〕	2.3.20(金・祝) 【開催中止】	文化センター 小ホール	ユネスコ無形文化遺産に登録の人形浄瑠璃文楽は、新型コロナウイルス感染拡大防止に努め開催中止。
14	高校生による演劇公演 第4弾「トロイアの女」 〔公1〕	2.3.28(土) 3.29(日) 【3回】	キャスパホール	高校生自身が演出をはじめ演劇製作に係る多くの業務に携わり、プロの脚本・演出家と共に作り上げる演劇公演だが、新型コロナウイルス感染症拡大防止への協力要請を受け開催中止。
15	文化事業連絡会 〔他1〕	年間	西宮市フレン テホール	近隣の文化会館との情報交換と交流を行った。
16	友の会事業 〔他1〕	通年		財団事業の入場券販売促進を目的として設立した友の会の運営。また、他の主催者が行う事業のチケットの作成、販売業務を行う。4月17日(水)には、友の会限定の四国こんぴら歌舞伎大芝居鑑賞ツアーを実施した。 【ツアー参加者】30人

3 総合文化雑誌「BanCul」(バンカル)の発行 〔公2〕

「BanCul」を継続発行し、播磨の文化を全国へ向け発信した。季刊3,800部。

- ① 112号(夏号) 特集:播磨の平成
- ② 113号(秋号) 特集:はりまと「万葉集」
- ③ 114号(冬号) 特集:はりまの陣屋
- ④ 115号(春号) 特集:美作道を行く

4 「文化情報姫路」の発行 〔公2〕

姫路市とその周辺における舞台、美術、文学等の催物案内、情報を掲載した「文化情報姫路」を毎月発行して市民に提供した。A4版12ページを月刊12,000部。

5 文化活動への後援名義等の使用許可、助成等 〔公2〕

姫路市の文化向上に寄与すると認められる団体や個人が実施する芸術文化活動に対して、財団の後援名義の使用を許可するとともに、年間2回の公募を行い、審査のうえ、事業費用の一部を助成金として交付し、芸術文化活動の活発化を図った。

助成金 応募=69件 交付=62件(辞退2件、中止5件)

後援名義使用許可=209件(内訳:音楽109件、美術28件、演劇16件、舞踊16件、映画鑑賞15件、伝統芸能8件、国際交流4件、文学1件、その他12件)

6 播磨学研究助成 [他1]

姫路市及び播磨地方の歴史、文化の学際的研究を推進するために、播磨学研究所が実施する各種の事業活動に対し、助成金を支出した。

7 女流王位戦助成 [他1]

女流棋士によって競われる将棋のタイトル戦、予選を勝ちあがった挑戦者との5番勝負の第1局を姫路に誘致、市民を対象とした大盤解説等を実施し、市民文化の向上と姫路市のPRに努めた。

開催日=4月25日(木)

開催場所=夢乃井(大盤解説はキャスパホール)

対局者=○里見香奈(女流王位) — ●伊藤沙恵(女流三流)

【入場者】60人

8 第74回姫路市民文化祭 [公1]

交響楽、器楽、吹奏楽、合唱、バレエ、邦楽、舞踊、能楽、民謡、詩舞道、演劇、茶華道、俳句、盆栽など各分野で活躍する郷土の227団体、約5,700人の参加を得て22の催物を開催し、日頃の練習成果を披露して市民に鑑賞してもらう文化の祭典となった。

開催日=11月2日(土)～11月24日(日)

開催場所=文化センター、キャスパホール、パルナソスホール、市民会館、勤労市民会館

9 芸術文化賞選考 [公2]

姫路市を中心に活躍、若しくは姫路市の芸術文化の振興に貢献した個人又は団体を顕彰するために、姫路市芸術文化賞の選考を行った。表彰式は、令和2年3月19日(木)に開催された第42回姫路市芸術文化賞授賞式で行った。

(1) 選考委員会

(2) 選考結果

芸術文化大賞=時里二郎(詩)

芸術文化賞=氏平源吾(現代美術)、十二世江崎欽次郎(能楽)、國富奎三(美術)、姫路文学会(文芸)

芸術文化年度賞=竹上孝子(合唱指導)、難波正司(郷土史)

芸術文化奨励賞=江藤雄造(漆工芸)

10 美術工芸館学芸普及事業

書写の里・美術工芸館において、企画展や体験教室などの学芸普及事業を実施した。

(1) 企画展 [公3]

展覧会名	会期	内容
【コーナー展示】 全国郷土玩具めぐり 広島県の諸玩具	31.4.6(土) ～8.22(木) 119日間	廿日市、常石、宮島の張り子、三次の宮の峡土人形、尾道の三体神輿、田面船など 114 点を展示した。 【入場者】17, 881人
【春季特別展示】 没後 20 年 清水公照の世界	31.4.13(土) ～6.2(日) 45日間	姫路市出身で、奈良東大寺の別当であった清水公照は、自ら「すみ・いろ・つち」と題し書や墨画、泥仏(どろぼとけ)と呼ばれる陶芸作品を制作した。本展は没後 20 年となる節目に書画や陶芸作品を約 110 点展示し、人と作品を紹介した。 【入場者】5, 022人
【特別展示】 播磨に息づく匠の技	元.6.8(土) ～7.15(月・祝) 33日間	兵庫県内を基点に全国的に活動する伝統工芸作家 7 名 (1 名は故人) の展覧会。木と漆に焦点をあてた作品を 40 点展示し、伝統的な技に裏打ちされた新たな作品づくりを紹介した。 【入場者】2, 690人
【夏季特別展示】 岩合光昭写真展「ねこといぬ」	元.7.20(土) ～9.1(日) 38日間	地球上のあらゆる地域をフィールドに活躍している動物写真家の岩合光昭(いわごうみつあき)は、身近なネコを 40 年以上ライフワークとして撮り続けている。ヒトのことを聞かないネコとヒトと寄り添うように変えられてきたイヌは、昔から常にヒトの暮らしと共にあった。本展は岩合光昭が撮り続けた世界各地のネコとイヌの写真を約 100 点展示した。 【入場者】15, 629人
【コーナー展示】 全国郷土玩具めぐり 滋賀県の諸玩具	元.8.24(土) ～12.12(木) 95日間	小幡人形、草津のピンピン馬、守山の猩々、大津絵の絵馬など約 100 点を展示。 【入場者】17, 945人
【特別展示】 兵庫県工芸美術作家協会 姫路展	元.9.7(土) ～9.29(日) 20日間	兵庫県工芸美術作家協会が例年、神戸で開催している展覧会(兵庫工芸展)を姫路に巡回し、県内で活躍する陶芸、染織、ガラス、皮革、漆芸、人形の各作家 43 名の 65 点を紹介した。会期中には各種のイベントも開催し、工芸美術の振興や交流促進に貢献した。 【入場者】2, 251人
【秋季特別展示】 日本のガラス展	元.10.19(土) ～12.24(火) 56日間	ガラスによる創作にかかわる人々によって日本で初めて創設された「日本ガラス工芸協会」が 3 年毎に開催し、14 回目となる「日本のガラス展」(2018 年～)の兵庫巡回展。表現や技法が日々進化し、挑戦し続ける現代ガラス作品を 111 点展示し、現代ガラスの魅力に迫った。 【入場者】8, 522人

展覧会名	会期	内容
【企画展示】 はりこ絵付けコンクール 展	元.12.7(土) ～12.24(火) 15日間	姫路はりこのお面や人形に、参加者が自由に絵付けをしたオリジナルはりこのコンクール。7人が入賞し37人の募集作品を展示した。 【入場者】1,163人
【コーナー展示】 全国郷土玩具めぐり 香川県の諸玩具	元.12.14(土) ～2.4.9(木) 58日間※	高松のほうこうさん、つまみ人形、観音寺の太鼓台、ごんぼいか(凧)など109点を展示した。 【入場者】4,242人
【新春特別展示】 高砂染展	2.1.7(火) ～3.22(日) 49日間※	江戸時代後期の姫路藩の特産品として生産された高砂染は、高砂の「相生の松」をモチーフに松葉や松かさ、尉姥をあしらった高級染物である。本展では、その歴史を裂や着物、文献並びに型紙などで紹介するとともに、昭和期に廃れた高砂染の現代の復元の試みにも迫り、143点の作品で紹介した。 【入場者】3,572人
私のいっぴんギャラリー	通 年	公募により、工芸分野の市民作品・コレクションを2週間ごとに一品(いっぴん=逸品)ずつ展示した。 【応募者】11人

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月5日(木)から会期終了まで臨時休館となった。

(2) イベント、各種体験教室の実施 [公2]

自然豊かな書写山の魅力を発信し、当館及び周辺施設への観光者の増加を図るため、関係団体と連携の上、季節を通じて各イベントを実施した。

- ① 書写山新緑まつりイベント 5月3日(金・祝)～5月6日(月・祝)の間
5月3日(金・祝) 陶芸教室を実施 【参加者】118人
- ② 開館25周年記念イベント 7月7日(日) 茶会を実施 【参加者】100人
- ③ たそがれコンサート 8月24日(土) コンサートを実施 【参加者】600人
- ④ 書写山もみじまつりイベント 11月24日(日) コンサートを実施 【参加者】100人

また、陶芸、染織、革細工、版画、工作教室など、見るだけでなく体験できる教室を通年で実施した。【参加者】330人

(3) 伝統工芸の製作実演 [公2]

姫路の各伝統工芸の魅力を紹介する目的で、職人による製作実演を館内で実施した。

実 演=姫路はりこ、姫路こま、姫山人形の製作

実演日=毎週金、土、日曜日、祝日(一部不定期) 【実演日数】延べ321人

(4) 常設展示や企画展示の付帯事業として図録等関連商品の販売を行った。 [収1]

II 国際交流事業

地域ぐるみの国際交進し、多文化共生社会の実現を図るため、地域住民の国際教養の普及啓発、海外都市との友好交流、国際交流情報の収集と提供、外国人受入態勢の整備及び在住外国人の交流などの事業を実施した。

1 地域住民の国際教養の普及啓発に関する事業 [公5]

(1) 国際交流ふれあい教室

在住外国人を講師に招き、講演や料理を通して異なる文化・習慣を持つ人々が地域に在住していることを知ってもらい、地域の国際化について考える機会を作った。年2回実施。

インドネシア人留学生たちと楽しいお料理教室 【参加者】26名

オクイールさんとアイリッシュ・ティーパーティー 【参加者】29名

(2) 国際理解出前講座

在住外国人や海外生活経験者を市立の小中高等学校又は公民館等へ派遣し、スライド等を用いた講演を通して、市民の国際理解を深める機会を提供した。年間20回実施。

【参加者】992名

2 海外諸都市との友好交流に関する事業

(1) 友好親善事業 [他1]

姉妹都市との友好交流を通して、両市の市民交流、市民の異文化理解を図った。

① 海外からの来姫者対応(随時)

② コンウィ城姉妹城提携記念訪問団受入

(2) 青少年交流事業 [公5]

姉妹都市でのホームステイを通して異なる文化を理解し、お互いの違いを認めながら共生できる次代を担う青少年を育成した。

① 青少年派遣

姉妹都市名	派遣者	人数	時期及び期間
フェニックス市	高校生	4	7/20 ~ 8/5 17日間
アデレード市	高校生	5	7/30 ~ 8/12 14日間
太原市	中高生	9	8/1 ~ 8/7 7日間
昌原市	中学生	8	7/23 ~ 7/29 7日間
シャンティイ・シャルルロア市	中学生	6	7/20 ~ 7/29 10日間

令和元年度のクリチーバ市への派遣は中止。

② 青少年受入

姉妹都市名	受入者	人数	時期及び期間
フェニックス市	高校生	4	6/12 ~ 6/27 16日間
アデレード市	高校生	5	9/29 ~ 10/11 13日間
太原市	中高生	10	7/10 ~ 7/16 7日間
昌原市	中学生	8	12/20 ~ 12/26 7日間

3 国際交流に関する調査研究及び情報の収集並びに刊行物の発行提供に関する事業

(1) 情報提供事業 [公5]

日本語を読んだり話したりできないことによる在住外国人の情報のハンディキャップを補うため、外国語放送・新聞では得ることのできない地域の情報(行政、教育、経済、社会、生活

等)を母国語で提供し、暮らしやすい環境づくりを行った。

種類	回数	内容
外国語生活情報誌 「VIVA!ひめじ」発行	年4回発行	在住外国人への最新生活情報提供。 6か国語(日・英・スペイン・ポルトガル・ベトナム・中国) 編集ボランティア11名、翻訳ボランティア延べ92名
VIVAの集い	年1回開催	「VIVA!ひめじ」の編集ボランティアと翻訳ボランティア の意見交換、交流会の実施。

(2) 外国語放送による情報発信 [公5]
FM Genki でベトナム語による生活情報等を提供した。毎週1回。5分程度。

(3) 機関紙等の発行 [公5]
機関紙及び海外姉妹都市青少年交流事業報告書により事業実施状況を報告した。

種類	発行回数及び部数	内容
機関紙「Hello! Himeji」	年1回 1,500部	活動報告及び会員便り。賛助会員等へ郵送、イベント開催時に配布。
機関紙「SHIRASAGI」	年3回 各400部	最新のイベント情報及びイベントレポート。賛助会員等へ郵送。
海外姉妹都市青少年交流事業報告書	年1回 1,100部	青少年派遣・受入学生の体験報告書。賛助会員、派遣生及び各学校等へ配布。

(4) 賛助会員への通知 [他1]
機関紙、その他のイベント通知をダイレクトメールにより送付した。

(5) ウェブサイトの運営 [公5]
行事の告知及び報告、在住外国人のための生活情報等をインターネットにより提供した。

4 外国人の受入体制の整備及び在住外国人との交流に関する事業 [公5]

(1) 在住外国人のための日本語講座の開催

① 在住外国人のための日本語講座

地域や職場で必要な会話や生活習慣を学ぶために日本語学習の機会を提供し、言葉の面から生活支援を行った。初級7クラス、初中級1クラス、中級1クラス各20名。年3期(5～7月/9～11月/12～3月)各10回開催。

② 日本語ひろば

日本語ボランティアに活動の場・機会を提供し、生活に必要な日本語学習を希望する在住外国人の細かなニーズ(時間、レベル、目的)に対応した日本語学習支援を行った。

日本語ボランティア 50名、学習者 165名

(2) 市民のための外国語講座の開催

令和元年度は開催実績なし

(3) 日本語学習支援ボランティア養成講座

日本語ひろばや地域の日本語教室で活動する、日本語学習支援ボランティアを養成するため、日本語指導ボランティアとしての心得や日本語教授法についての基礎講座を開催した。

開催日＝8月17日(土)・18日(日)・24日(土)

会場＝イーグレひめじ

受講修了者＝48名

(4) ボランティアステップアップ学習会

市民及び登録ボランティアを対象に、ボランティア活動の更なるステップアップを目指すための学習会を開催した。年3回

- ①「生活の漢字」～外国人の漢字学習支援 【参加者】43名
- ②「ICT 教材活用のための研修」 【参加者】38名
- ③「地域に根ざした日本語学習支援を考える研修会」 【参加者】34名

(5) 多言語生活相談

多言語による生活相談を実施し、在住外国人の生活面での問題解決を支援した。

開催場所	内容
市役所1階 市民相談センター	多言語生活相談の実施。 毎週火曜日 13:00～16:00(中国語、ポルトガル語・スペイン語) 【相談件数】 20件 8月31日で終了し、次掲の外国人相談センターの中で継続実施
市役所1階 市民相談センター	外国人相談センターの名称で9月1日開設 平日 9:00～17:00 日本語、英語・フランス語 毎週火曜日 13:00～16:00 中国語、ポルトガル語・スペイン語 【相談件数】 136件
市役所1階 市民相談センター 城東町総合センター 高木総合センター 見野の郷交流館 イーグレひめじ	ベトナム語生活相談の実施 毎週月～金 13:00～17:00 実施場所は曜日によって異なる。 【相談件数】 435件

(6) 地域交流事業

地域で暮らす在住外国人と市民が、料理教室等のイベントを通して交流し、相互理解を図り、異なる文化を持つ人々が暮らしやすい地域づくりのための事業を実施した(2回)。また同様の事業を実施した2団体に助成した。

ダン・バン・ラムさんと作るフォーと生春巻き 【参加者】 16名

ティファニーさんとコーヒブレイク 【参加者】 15名

姫路市内で実施される国際交流事業に対して後援名義の使用を許可した。

(7) 国際交流フェスティバルの開催

各国料理模擬店、多文化共生を考えるワークショップ、各国民族舞踊音楽の紹介、世界の遊び、民族衣装やアボリジニアート体験などのイベントの開催を通して、市民の異文化交流・理解を図った。

開催日=10月27日(日) 会場=大手前公園

(8) 日本語スピーチコンテストの開催

日本語を母語としない在住外国人の日本語学習の成果を発表する機会を提供するとともに、市民に多文化共生社会について考えるきっかけを提供した。

開催日=2月16日(日) 会場=イーグレひめじ

【発表者】13名 【観客】230名

5 国際交流関係団体の連携及び支援に関する事業 〔他1〕

事業名	対象者	内容
ボランティアの登録	一般市民	ホームステイ、通訳・翻訳、日本語指導のボランティアを随時受付。 また、通訳・翻訳ボランティアの整理を行った。 令和2年3月末現在68名登録 ホームステイ受入登録 116件
ボランティアによる事業推進	一般市民	ボランティアが主体的に企画・運営する事業は、①日本語学習に関しボランティア51名が学習者103名を支援した。また、学習者を対象にイベント(料理教室・日帰り旅行等)を実施した。②情報誌作成に関しボランティア(編集11名、翻訳延べ92名)が企画・取材・翻訳・編集に携わった。ボランティアの参画事業は、海外姉妹都市青少年派遣事業に関し、スムーズな運営のためのボランティアとして派遣事業40名、受入事業で40名が携わった。

Ⅲ 施設管理運営事業

指定管理者制度の導入に伴い、制度の趣旨や公立文化施設としての使命を理解し、運営経費の節減に努めるとともに、利用者へのサービスに徹し、使用率、収支比率の向上を図った。また、管理施設内において、前述のようなすぐれた舞台芸術の提供、市民参加型の事業等を実施した。また、大ホールで避難訓練コンサートを実施することにより、安全対策のノウハウを蓄積し、施設利用者に安全性の高い施設を提供することができた。

文化事業への貸出は、公益目的事業4。文化事業以外への貸出は、収益事業2で管理した。

令和2年2月下旬から新型コロナウイルス感染拡大防止のため政府の自粛要請に応じた使用中止が相次いだ。

1 姫路市文化センター(指定管理施設)の管理運営

年間利用者＝ 354,365人 使用率＝大ホール 55%、小ホール 63%

2 姫路キャスパホール(指定管理施設)の管理運営

年間利用者＝ 38,825人 使用率＝58%

3 パルナソスホールの管理運営

年間利用者＝ 47,284人 使用率＝60%

令和元年度 事業報告の附属明細書

令和元年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」は存在しない。